

ち」として、薩摩川内市を市内外に大きくアピールできた。森市長は、次期市長選挙不出馬を表明されたが、掲げておられたマニフェストの達成度の自己評価も含めて、感慨を伺いたい。

答弁 マニフェストについては、経営会議等において評価しているところであり、概ね着手している。また、行財政改革等については、国・県の方からも一定の評価を受けているが、残された課題も多い。さらなる地域発展のために、議会・地域住民の皆様方、そして、市の職員が一丸となり、さらに市政飛躍・発展のために頑張っていたべくことを期待している。

薩摩川内市元気塾の成果と今後について



川添 公貴

質問 薩摩川内元気塾について①各学校の取組状況、その成果をどのように分析しているか。受講している児童・生徒は、聴衆・観客が主な内容と考えるが、体験型等など発展的に再検討する考えはないか。②異年齢集団活動として、

郷中教育を現代流に本市独自の考え方で再検討し、「負けるな」「嘘をいうな」「弱い者をいじめるな」を中心として元気塾で取り組む考えはないか。



薩摩川内元気塾の様子(南瀬小学校)

答弁 ①取組状況としては、全校で合わせて平成十九年度が二百九回、平成十八年度は二百十八回実施しており、子どもたちや先生方、保護者、地域の方々から大変好評を得ている。体験型でなくても、特殊技能の実技披露や子どもたちが将来への夢や希望を与えてくれる話であれば、ひとつの講演会として取り入れることはやぶさかでない。②元気塾の中で郷中教育の精神や歴史、内容等について取り上げていくことは可能だが、それが元気塾の目的に沿うかどうかは

各学校が主体的に取り組み、検討していただきたい。

地球温暖化防止対策について



古里 貞義

質問 京都議定書目標達成のため本市も市内の温暖化防止実行計画で平成十八年度から平成二十二年まで温室効果ガス総排出量を六%削減することを目標としている。平成十八年度報告によると一・二%削減できたとのことであるが、平成二十二年度目標達成出来る見込みか。低公害車購入計画はどうなっているのか。また、燃費の良い軽自動車への転換は考えているか。

答弁 平成十八年度状況を引き続き努力していけば、平成二十二年度の目標数値、マイナス六%は達成できるのではないかと思う。低公害車の購入については、平成十九年度で十台購入、平成二十年度で八台を予定しており、平成二十一年度以降についても配慮したい。また、普通自動車から軽自動車への切り替えは、昨今の原油価格高騰への対応からも積極的に進めた

い。

宮之城線跡の道路整備と飯母橋の架け替えについて



小牧 勝一郎

質問 宮之城線が廃止になって二十一年経過しているが、いまだに道路整備が完成していない。水害時の避難道路の確保と利便性の向上のために早期完成を。また、飯母橋が耐用年数の六十年に近づいている。飯母塔之原線の改良の中で唯一の改良されていない部分に当たる。早期の架け替えと道路整備の計画を問う。



飯母橋(中村町)